

柴崎研究室現地調査報告

5月11日、柴崎研究室の教員と院生・学生全員、藪崎先生、川越研究室4年の学生、および柴崎研究室配属希望3年生4名の、計11名で裏磐梯調査に行ってきました。

午後は雨でしたが、無事に銅沼、弥六沼、毘沙門沼の水位計データ回収に行ってきました。

銅沼は昨年後半よりも水位が回復していましたが、昨年5月と比較すると水位は低いようでした。雪は、まだ結構残っていましたが、雪解け水の量は少なく感じました。

心配していた寒冷条件下での水位計の故障は、幸いなことにありませんでした。冬季の銅沼等の水位変動をこれから解析する予定です。

また、川越研究室の学生にも協力してもらい、銅沼の水位や水位計設置地点、仮ベンチマーク等の精密GPS測量に行ってきました。今後、電子基準点でのGPS観測データを使ってGNSS後処理を行い、センチメートルオーダーでの位置と標高の算出を行います。

また、今年度予定している地下水観測孔掘削の掘削候補地の選定もに行ってきました。

